

内閣改造・自民党役員人事について

党役員人事では、来年9月に行われる党総裁選での安倍総理の再選に向け、地元・谷垣幹事長をはじめ重鎮を要職に配置し、万全の態勢で臨む布陣となった。

一方、今回の組閣人事では、地方創生担当相を新設し、人口減少対策や地域活性化を最重要課題と位置付けたことを評価している。日本経済の再生を確実なものとするためには、地域の中小企業の成長をいかに伸ばし、雇用を創出していけるかにかかっている。経済の好循環を地域や中小企業にまで波及させるとともに、少子高齢化や人口減少という大きな課題に向き合っていたいただきたい。

多くの女性が入閣したことは今回の組閣の特徴である。成長戦略のひとつに「女性の活躍促進」を掲げる内閣として、女性の知恵を政策に活かし、具体化して実行することを期待している。女性閣僚には、いきいきと働く女性の象徴となるよう、存分に力を発揮いただきたい。

以 上

平成26年9月3日
京都商工会議所
会頭 立石 義雄